

「親子メキシコ料理教室」が開催されました

広島県・グアナファト州友好提携3周年記念事業として「親子メキシコ料理教室」が、11月18日（土）10時より広島市中区南竹屋町の広島ガスショールームガストピアセンターにおいて、小学5年生から中学生までの子供たちと保護者15組が参加し、講師に在日メキシコ大使館文化担当参事官トリニダード氏とグアナファト州政府日本代表のゴンザレス氏を迎えて、開催されました。

当日は料理を始める前に、参加者に対してメキシコ合衆国やグアナファト州の紹介があり、また、普段よく口にしている野菜や意外なものが実はメキシコ発祥であるなどの説明を受け、さらには、スペイン語講座も開かれました。

参加者全員、エプロン、バンダナを付けて、いよいよメキシコ料理に挑みました。トリニダード氏、ゴンザレス氏の分かりやすい説明と手慣れた実演を見て、親子で協力し合いながら、真剣に取り組んでいました。

サルサメヒカーナ（メキシカンソース）、ワカモレ（アドカドディップソース）、セビーチェ（魚介のマリネ）、ケサディーヤ（チーズ入りトルティーヤ）のメキシコの定番料理4品をそれぞれが作りながら、その都度味わいました。

時間を超過しましたが、楽しいひと時もあっという間で、メキシコ料理を実際に作ることで、これまで以上にメキシコ合衆国やグアナファト州を身近に感じる大変有意義な時間となりました。



メキシコ合衆国やグアナファト州の説明をするトリニダード氏（右側）とゴンザレス氏（左側）



メキシコ料理作りに一生懸命取り組む参加者